預金・貸出金などの状況

■預金・積金残高の推移

預金・積金残高は、伸展するキャッシュレス化への対応や、エリア内世帯並びに事業所先への「間口拡大」と「メイン化推進」施策により、口座の活性化に取り組み、流動性預金の増強に努めた結果、個人預金・法人預金ともに増加が図れ、1兆86億円(期初比399億円、4.12%増)となりました。

預金•積金残高(2024年9月) 1兆86億円 (億円) 11,000 1,008,618百万円 968,647百万円 31,304百万円 10,000 20.997百万円 58百万円 35百万円 9.000 204,318百万円 185,900百万円 8,000 7,000 6,000 5,000 4,000 772,936百万円 761,713百万円 3,000 2,000 公公 金融機関 1,000 法 人 個 人 0 2024年3月 2024年9月

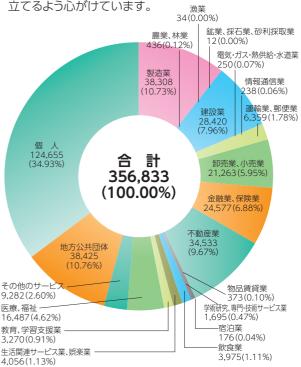
■貸出金残高の推移

資源・仕入価格高騰や為替変動の影響を受けておられる事業者、個人のお客様から、あらゆる相談をお受けする「よろず相談所」の取組みを優先しました。その結果、貸出金は**3,568億円** (期初比151億円、4.44%増)となりました。



業種別貸出残高の内訳

特定業種に偏ることなく、地域の幅広い業種のお役に立てるよう心がけています。



(単位:百万円、%)

	(单位,日万円、%)			
	2024年3月		2024年9月	
	残高	構成比	残高	構成比
製 造 業	34,665	10.14	38,308	10.73
農業、林業	412	0.12	436	0.12
漁業	36	0.01	34	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	12	0.00	12	0.00
建 設 業	29,137	8.52	28,420	7.96
電気・ガス・熱供給・水道業	256	0.07	250	0.07
情報通信業	254	0.07	238	0.06
運輸業、郵便業	6,586	1.92	6,359	1.78
卸 売 業 、小 売 業	20,216	5.91	21,263	5.95
金融業、保険業	19,462	5.69	24,577	6.88
不 動 産 業	34,275	10.03	34,533	9.67
物 品 賃 貸 業	276	0.08	373	0.10
学術研究、専門・技術サービス業	1,707	0.49	1,695	0.47
宿 泊 業	189	0.05	176	0.04
飲 食 業	3,564	1.04	3,975	1.11
生活関連サービス業、娯楽業	4,053	1.18	4,056	1.13
教育、学習支援業	2,805	0.82	3,270	0.91
医療、福祉	16,112	4.71	16,487	4.62
その他のサービス	8,718	2.55	9,282	2.60
小計	182,747	53.49	193,752	54.29
地方公共団体	36,199	10.59	38,425	10.76
個 人	122,693	35.91	124,655	34.93
合 計	341,639	100.00	356,833	100.00